



菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>

泗水図書館 ☎0968(38)6866 [休館日]月曜日・月末・祝日
中央公民館図書室 ☎0968(25)1672 [休室日]火曜日・第1日曜日・祝日
七城公民館図書室 ☎0968(25)1580 [休室日]日曜日・祝日
旭志公民館図書室 ☎0968(37)3111 [休室日]日曜日・祝日



司書のつぶやき
猛暑の次は台風ラッシュ...
静かな秋はくるのかな?
by コスモス

司書お薦め! 話題の図書



ひとりじゃなかよ
西本喜美子 著/飛鳥新社
衝撃的な自撮り写真がネットを中心に話題になった、御年88歳のアマチュアカメラマン初の写真集。心温まる熊本弁の詩や幻想的な写真は魅力いっぱいです。
所蔵 ▶ 泗水図書館・中央公民館図書室

今月の新着 & お薦め図書

泗水図書館
天下を計る 岩井三四二 著
室町無頼 垣根涼介 著
鯨分限 伊東潤 著
執着 ハビエル・マリアス 著
スマホ断食 藤原智美 著
その島のひとたちは、ひとの話をきかない 森川すいめい 著
ブーツをはいたキティのおはなし ビアトリス・ポター 作
プーさんとであった日 ソフィー・ブラッコール 絵

中央公民館図書室
夫もやせるおかず作りおき 柳沢英子 著
ひとりじゃなかよ 西本喜美子 著
スコープのたまご 大崎梢 著
私の消滅 中村文則 著
死神うどんカフェ1号店 一杯目 石川宏千花 著
おさんぽおさんぽ ひろのたかこ 作
マジックツリーハウス探検ガイド メアリー・ポー・オズボーン 著

七城公民館図書室
60代、70代のアイテム別着こなしレシピ 佐藤恵子 著
去就 今野敏 著
おしりたんてい ふめつのせつとうだん トロル さく・え
ママのスマホになりたい のぶみ さく

旭志公民館図書室
刑罰0号 西條奈加 著
林亮太の超リアル色鉛筆入門 林亮太 著
いかにんじゃ みきすぐる 作
パナーナ! 藤本ともひこ 作

図書館(室)イベント情報

としょかんまつり

とき 11月20日(日) 午前10時~
ところ 泗水図書館
●茨木國男さん講演 演題:「着物が教えてくれたこと」
きものサロン和の國代表。
●雑誌ひろく抽選
本を借りた人に抽選で雑誌のひろくをプレゼント!
●リサイクル本無料配布 ●企画展示 他

としょかんまつり
イベント

とき 11月19日(土)
●講談社の全国訪問おはなし隊
●ぬいぐるみのおとまり会
※詳しくは館内配布又は、ホームページをご覧ください。

図書館(室)耳より情報

手づくりスタンプを作ろう!

あなただけのスタンプを作ってみませんか? ペットボトルキャップと発砲シートで簡単にできます! クリスマスカードや年賀状などにも使えますよ☆

とき 12月17日(土) 10時~11時まで
ところ 七城公民館 和室
募集人数 10名(※先着順)
申込期限 12月16日(金)まで
参加費 無料
【申し込み・問い合わせ先】七城公民館図書室

大人のモノ作り第2弾!!

今回は紙でつくる「門松」です。お正月に玄関に飾ってもよし、テレビの横に置いてよし、手作り門松で新年の門出を彩りませんか。

とき 12月8日(木) 14時~15時
ところ 中央公民館図書室
募集人数 5名(※先着順)
申込期限 11月30日(水)まで
参加費 無料
【申し込み・問い合わせ先】中央公民館図書室



万句の里俳句会 9月例会

鶏頭をこよなく愛す母に供花
諦めて去りゆく句友秋暑し
玉垣に縋りて小さき牽牛花
唐突に蕾もたげし彼岸花
芦刈って水音広く残りけり

丸山美代子
岩木 敬治
北村 妙子
宮本 雅子
松永 久子

七城短歌会 9月詠草

遠来の孫との食事くさぐさの近況聴けば安らぎおぼゆ
常ならぬ宵の明りに障子開くひと日遅れの中秋の月
愛しの子車輻もろとも谷深く岩間に埋まるを見とどく父母
特養の人らと向き合い童謡を歌えば皆の笑顔ほころぶ
穂垂れ田に沿う畔道を朱に染めて季節たがわず彼岸花咲く

池田カツ子
佐々 重弘
嶋田 晴美
緒方 寛子
緒方 正俊

せせらぎ俳句会 9月例会

コロリコロ割れぬ曾孫の西瓜割り
ゴミ出しの挨拶もまた爽やかに
置く影の長くなりゆく初秋かな
作業終え夕日傾き法師蟬
新涼や句心誘ふ風のあり

服部 静子
藤本アツ子
五丁 義昭
寺本 和子
藤本 邦治

「里」短歌会 9月詠草

秋立ちて祖の墓修復終わりたり菊花供えて胸なで下ろす
のさんねえ一寸一服屋寝どき止まぬ電話によるめきて立つ
十六夜は雲の過ぎるも煌煌と月光降らす地上に降らす
真夏日に木陰に伸びた秋菊は緑深めて花のとき待つ
電線のうなり聞こゆる夜の嵐目覚めしままに夜のしらみゆく

松本 和子
川口 敦子
宮本 淑子
梶原美智代
安見 朱實

旭志文芸教室俳句の会 9月詠草

夕立に息ふき返す庭の花
串焼きに行列出来て夏祭り
歳重ね思ひ出語る終戦日
卓袱台にたった一人の冷や奴

芹川のり子
中尾ヨシコ
芹川 蓉子
水谷 ミネ

さわやか大学文芸クラブ 9月歌会

柿の葉の色濃く厚く風に鳴る秋の訪れそこはかと待つ
この夏の異常な熱さ三十七度日陰を追ひて庭草を抜く
雑草の種播きしごと庭一面に抜けども抜けども後から生える
瓶にさす赤い鬼灯幼日は隠れてちぎるスリルもあつた
雨ほしき庭の花ばな色褪せて夕立雲は今日も遠のく

岩木タエ子
山下 菊代
安東 綾子
堤 よしみ
山田 弘子

肥後狂句水笑会 9月例会

炎天下 どこに居たってしなびれる
炎天下 悩みそまでがグーッグツ
よか台風 悩みの納屋をつくざした
よか台風 遠慮しいしい通らした
炎天下 予約しとこか救急車

柏原 乗仏
小崎 海美
宮上 美由
井手 水光
山隈 好茶

菊池短歌会 10月詠草

自死多き「先進国」てふこの国の惨は極まる立憲破壊
菊苗にバツタの親子とまりをりを消毒やめて飛び立つを待つ
明日に向きひとり深々礼なすに落日いまを西山は呑む
朱の花をゆらりひらりと縫ふやうに黒き揚羽が戯れてをり
台風の進路は逸れて日常に下校の児童等は傘もて遊ぶ

怒留湯健蓉
林 まつ子
村上さき江
川口 幸臣
安藤 則子